

第1回、第2回公開講座の活動報告

高知女子大学看護学会公開講座「やってみてわかる！データ分析」共催：高知県立大学
今年度は、質的研究2回、量的研究2回の4回シリーズで開催されました。

第1回 データの質的な分析 「データの収集と質的な分析」

日時：平成26年8月30日（土）9：30～12：30

場所：高知県立大学 池キャンパス 看護福祉棟 208 教室

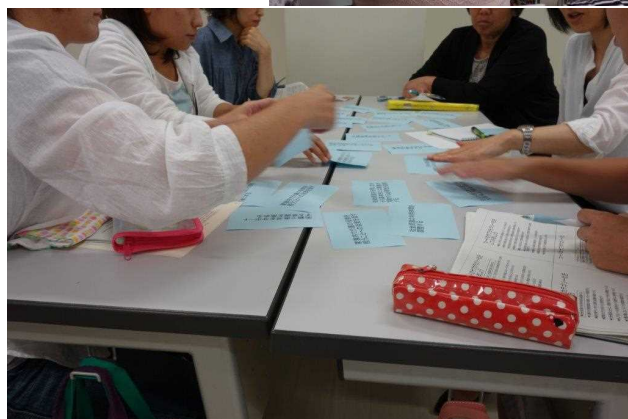
講師：田井 雅子（高知県立大学看護学部准教授）

参加者：54名

第1回公開講座は、データの質的な分析の初級編として、講師の田井雅子先生から、まず質的研究の方法論や研究テーマの検討、データ収集と分析方法について分かりやすくご講義いただきました。そして、研究テーマの一例として『退院に向けた患者の家族への看護援助』を仮定し、インタビューの逐語録データのコード化、カテゴリー化をグループワークしながら、データ分析の演習をおこないました。

昨年よりも多数の方々にご参加くださり、愛媛県や香川県など県外からもご参加された方もおられました。参加者の方々からは、「初めて質的研究の講義を受講し大変勉強になりました」、「グループワークが楽しかった。研究への興味が出てきた」、「実践があり、わかりやすかったです。グループワークではファシリテーターの方が入って下さり学びが深まった」と好評をいただきました。

ご参加くださいました皆様、本当にありがとうございました。



第 2 回 データの質的な分析

「結果の意味と解釈」

日時：平成 26 年 8 月 30 日（土） 13：30～16：30

場所：高知県立大学 池キャンパス 看護福祉棟 208 教室

講師：池添 志乃（高知県立大学看護学部教授）

参加者：36 名

第 2 回公開講座は、第 1 回（午前中）に引き続き、データの質的な分析を行いました。今回は中級編として、講師の池添志乃先生から、質的研究におけるデータ分析の特徴や、分析から見てきた現象のラベルづけの手順、カテゴリーの関係の考え方を、ご講義いただきました。そして、演習では、午前中の研究テーマについて、カテゴリーの内容とそれぞれの関係を明らかにし、研究結果のまとめをグループワークしながらおこないました。第 1 回から継続して参加された方々がほとんどであり、多くの方々に質的な研究の一連のプロセスについて理解を深めていただける機会となりました。参加者の方々からは、「グループワークすることで考えがまとまり、他の人の意見を聞いて変わってきて分析が深まった」、「答えは一つではない。いろんな方向からの見方が大切と言うことがわかりました」、「ちょうどインタビューが終わったところなので早速来週からコード化ラベルづけしてみたいと思います」などご感想をいただきました。

今後も皆様の研究活動にお役に立つことのできる講座を開催していきたいと思ひます。

